セコム独自のオンライン・セキュリティシステムは、緊急対処員が駆けつけるシステムであることが国内外のお客様に評価されています。

▶オンライン・セキュリティシステムを一貫して提供する体制

セコムのオンライン・セキュリティシステムの仕組みは、ご契約先にセンサーなど各種セキュリティ機器を取り付け、通信回線を利用してお客様とセコムをつなぎ、コントロールセンターで24時間365日監視します。そして、侵入・火災などの異常信号を受信すると、最寄りの緊急発進拠点から緊急対処員が駆けつけ、必要に応じて警察や消防に通報します。

欧米では、オンライン・セキュリティシステムは存在しましたが、緊急対処員が駆けつけるというサービスは、ほとんどありませんでした。また、センサーなどの機器を製造する会社、設置工事をする会社、異常を監視する会社が、それぞれ別々に存在していました。

セコムがセキュリティ機器の設置や監視だけではなく、緊急対処まで提供することにしたのは、「緊急対処を行い、ご契約先の安全を確保して初めて、安全を提供したことになる」と考えたからです。

このようなセコム独自の考え方による緊急対処サービス付オンライン・セキュリティシステムは、国内だけではなく海外のお客様からも支持されています。現在、セコムの緊急対処サービス付オンライン・セキュリティシステムは、世界第1位のご契約件数をいただくまでになっています。

セコムが高品質なセキュリティサービスを実現できるのは、セキュリティシステムを一貫して提供する体制があるからです。セコムは、セキュリティシステムの研究開発から機器の製造、販売、セキュリティプランニング、設置工事、24時間監視、緊急対処、メンテナンスまでを自社で行っています。このような体制のすべての分野に責任を持ち、システムの信頼性と安全のプロによって確実に運用・管理することで、セコムのブランド力を築き、高品質なセキュリティサービスを提供しています。

研究開発の分野では、独自の研究開発体制を構築しています。IS研究所においては基盤技術の研究に取り組み、開発センターにおいてはその基盤技術を生かして、新たなセキュリティシステムの開発を行っています。セコムは、こうした研究開発体制を持つことで、お客様の声を反映させたシステムの迅速かつ的確な開発などを行うことができます。

24時間監視および緊急対処の分野では、異常の監視、情報の伝達などはセンサーや通信機器の迅速性と正確性を活用する一方、異常事案の分析や緊急対処などの判断力や機動力、対応力を必要とする部分は人間が行っています。特に、緊急対処では、長年培った豊富な経験と、その経験を生かした管制員の素早い判断力や訓練された緊急対処員の初動の速さに加え、日本全国に業界最多の緊急発進拠点があることにより、迅速な緊急対処を可能にしています。また、人と機械による総合的なセキュリティシステムは、効率的で質の高い24

時間監視を実現し、ワンランク上のセキュリティサービスを提供しています。

また、セキュリティシステムを一貫して提供する体制には、人材の教育と管理が重要です。セコムでは、全国4カ所の研修センターで、緊急対処員をはじめ、営業、管理担当者などが、知識や技術とともに、「セコムの理念」や安全のプロとしての行動規範を徹底的に習得しています。この点でも、質の高いサービスの提供に結びついています。

さらに、オンライン・セキュリティシステムをより多くのお客様にご活用いただくためには、サービスを最適な価格で提供する必要があります。セコムでは、お客様にレンタル方式でシステムを提供することを基本にしているので、お客様はセキュリティ機器を購入する場合に比べて、初期の導入費用を抑えることができます。さらに、セコムがこれらの機器を責任を持って維持・管理することで、故障や更新が必要な場合には、迅速かつ柔軟な対応が可能となり、常に安定した品質の高いセキュリティサービスを提供できます。

セコムの緊急対処サービス付オンライン・セキュリティシステムは、海外のお客様からも「セコム方式」として高く評価されています。その理由は、セコムが1978年に海外進出して以来、国や地域の状況に合わせてカスタマイズした高品質なサービスを提供しているからです。セコムは、現在世界11の国と地域で「セコム方式」のオンライン・セキュリティシステムを提供しており、今後も海外のお客様に受け入れられている「セコム方式」を、世界に普及させていきます。

独創的な発想と確かな開発力で「社会システム産業」の構築をサポート

▶お客様のニーズにいち早く応えるセコムの研究開発体制

セキュリティシステムを一貫して提供する体制の中で、セコムの研究開発部門は、重要な役割を担っています。それは、さまざまな現場の声や、日々の営業活動やサービス提供の中で得られたお客様のご要望などが、研究開発部門に集約されるからです。研究開発部門では、それらの声を反映させて適切にシステムを改善し、お客様のニーズにいち早く応える新しいシステムを開発しています。

セコムの研究開発体制は、「社会システム産業」を実現するための将来のコア技術を創出するIS研究所と、その技術を基盤として独創性と信頼性の高い機器やシステムを開発する開発センターから成り立っています。セコムは、技術力が重要な経営資源のひとつであり、セキュリティ市場で競争優位を確保するうえでも重要であると考え、研究開発を重視しています。

これまで、研究開発部門は、社会動向、犯罪動向、技術動向などを見据えな

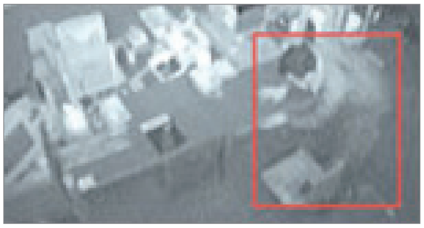
セキュリティから医療福祉まで多岐にわたる研究を行うIS研究所

セコム独自の厳しい開発基準で開発を行う開発センター

がら、世の中が必要とするさまざまなシステムを開発・提供してきました。その代表的なものに、画像認識技術を搭載した日本初のオンライン画像監視システム「セコムAX」があります。

「セコムAX」では、画像センサーが高度な画像認識技術によって暗闇でも侵入者を検知し、異常信号とともに画像と音声をコントロールセンターへ自動送信します。このような画像認識によって侵入者を検知する技術は、その後の24時間営業店舗向けオンライン画像監視システム「セコムIX」、屋外巡回監視ロボット「セコムロボットX」、通報ボタンを使わずに強盗などの異常を自動検出する「インテリジェント非常通報システム」などに生かされています。

セコムの研究開発部門は、今後も最新の技術でお客様のニーズにいち早く応えるシステムを開発し、「社会システム産業」の構築を力強くサポートしていきます。



画像で確認できる「セコム AX」

「セコム AX」

「ALL SECOM 飛躍的成長元年」と位置づけ、「安全・安心」の新ステージへ

▶“ALL SECOM”でグループの総力を結集

セコムは、「社会システム産業」の構築を推進するために、2013年3月期を「ALL SECOM 飛躍的成長元年」とし、「安全・安心」の新たなステージをめざしています。“ALL SECOM”の目的は、グループ各社の事業区分にとらわれず、社会やお客様がセコムに何を求めているかを追求し、それらのニーズに応える新しい事業やサービスを創出することです。

また、グループ各社の営業連携を進めることで、相互理解と意思疎通を図り、グループの総力を結集する体制を確立する狙いもあります。このような目的を達成するために、グループ各社の代表者で構成される「ALL SECOM 推進部」を発足させて、さまざまな施策を立案し、お客様に総合的な「安全・安心」の提案を行っています。

これまでの“ALL SECOM”の成果としては、まず、セキュリティサービス事業、防災サービス事業、地理情報サービス事業、情報通信サービス事業の危機管理に関するシステムやサービスを結集して構築した「危機管理支援トータルサービス」があります。これにより、これまで各事業が個別に提供していた事業継続計画（BCP）支援サービスを、ひとつにまとめて総合的かつ個別にも提供できるようになりました。

また、「セコム高齢者見守りサービス」は、セキュリティサービス、「セコム・ホームサービス」、メディカルサービスを一体的に提供して高齢者を見守ります。「セコムあんしんライフ制度」は、不動産開発・販売事業とメディカルサービス事業を組み合わせることにより、「グローリオ蘆花公園」の入居者がメディカルサービス事業で運営するシニアレジデンスなどへ優先的に入居できるという、入居者のライフステージに合った安心な住まいを提案する新しい仕組みです。

このように“ALL SECOM”によるグループ各社の連携により、さまざまな事業の融合が実現し始めています。今後も、お客様のニーズを見通したサービスを“ALL SECOM”で創出し、さらなる「安全・安心」づくりに邁進していきます。

セコムは、“ALL SECOM”による「安全・安心」の総合的なサービスを提供することで、お客様が不安を感じたときはいつでも相談できる「安全・安心」のパートナーとして、成長基盤の拡充を図っています。

セコム画像センター

“ALL SECOM”がつくる近未来の「安全・安心」

▶今後の成長をめざして近未来の「安全・安心」を提案

セコムは、今後のさらなる成長をめざして、“ALL SECOM”がつくる近未来の「安全・安心」を提案する、ALL SECOM「セコムフェア2012」を開催しました。

ALL SECOM「セコムフェア2012」は、セコムの創立50周年イベントとして、お客様に感謝の気持ちをお伝えするとともに、セコムのビジョンや最新の事業内容、近未来の姿を社会に発信する大規模な展示会であり、全国5都市で開催し、多数のお客様が来場されました。

今回のALL SECOM「セコムフェア2012」は、“ALL SECOM”と冠しているように、セキュリティサービスにとどまらず、防災サービス、メディカルサービス、保険サービス、地理情報サービス、不動産開発・販売、情報通信・その他のサービスなど、“ALL SECOM”が提供する多様なシステムやサービスを紹介しました。

加えて、セコムが考える近未来のサービスのイメージを提案し、セコムが今後どのように社会に貢献しようとしているのかを、ご理解いただけるように努めました。例えば、防犯では、セコムがめざす犯罪のない社会の実現に向けた未来型セキュリティシステムを提案したり、防災では将来の災害発生時にセコムが提供する次世代防災システムを、医療では日常の健康管理から救急対応、超高齢社会を見守る未来型メディカルサービスを紹介しました。

セコムは、今後もお客様のご期待に応える事業活動を展開し、さらなる成長をめざしていきます。

ALL SECOM「セコムフェア2012」東京会場でのテープカット

セコムが考える近未来のセキュリティサービスを紹介